

## 第 5 章 今後の推進



## 5章 今後の推進

### 5-1 市民協働による自転車利用の推進

#### (市民等の役割)

##### (1) 市民の役割

- ①低炭素型社会を意識し、過度な自家用車による移動を抑制し、自転車等の利用を心がけます。
- ②自転車を利用する際は、交通ルールや駐輪マナーを守り、交通秩序の維持に努めます。

##### (2) 商業者、企業の役割

- ①行政と連携し、自転車通勤や自転車による来街、また、自転車の安全かつ適正な利用を奨励するとともに、買い物客や従業員の自転車駐車場の確保に努め、自家用車の削減による環境負荷の低減、地域イメージの向上に努めます。

##### (3) 地域団体、NPOなどの役割

- ①地域での安全学習や安全点検などに取り組み、安全で快適な自転車利用に関する意識向上に努めます。

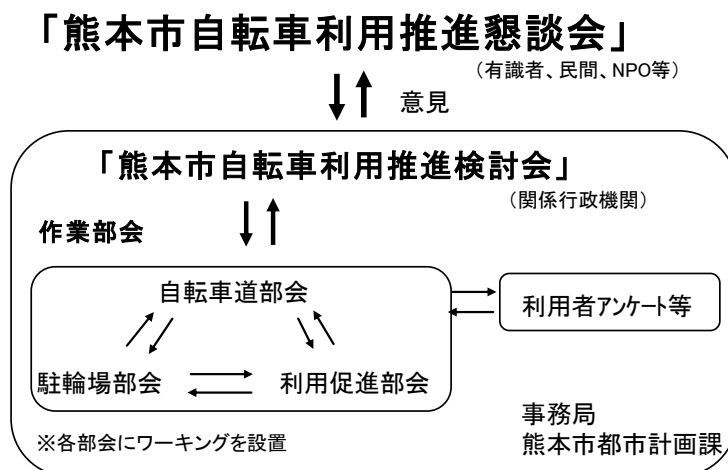
#### (行政の役割)

- ① 自転車や公共交通の利用を促すキャンペーンなどを通じて自転車利用の目的や効果等を広く周知し、市民との協働による自転車の利用推進に努めます。
- ② 自転車が都市交通の手段として機能するよう、走行空間の整備や安全対策などのハード整備を進めます。
- ③ 中心市街地やサイクル&ライドにおいて自転車駐車場が必要な場所では、民間事業者と連携・協力した整備に努めます。
- ④ 観光型レンタサイクルの導入必要性について検討を行います。
- ⑤ 交通ルールや駐輪マナーについては、関係機関と連携した指導啓発による交通秩序の維持に努めるとともに、地域の主体的な安全活動の取り組みについても支援を行います。
- ⑥ 各区役所やまちづくりセンター等と連携し、自転車利用に関する地域ニーズへの対応を図っていきます。

## 5-2 検討体制

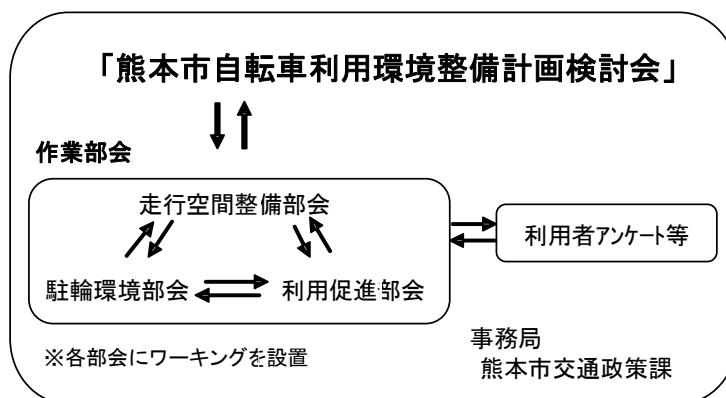
### (1) 策定時の検討体制

熊本市自転車利用環境整備基本計画及び同実施計画については、以下に示すように、関係行政機関から構成する「熊本市自転車利用推進検討会」を組織し検討を行いました。また、有識者、市民等で構成する「自転車利用推進懇談会」の意見聴取や利用者アンケート等を実施しながら計画を取りまとめました。



### (2) 見直しの検討体制

策定時以降の自転車交通動向等の変化を踏まえた各施策の総括と検証し、課題の抽出や対応策、新たな施策等の検討に向けて適宜見直しを行い、自転車を利用しやすい環境の実現に向けて継続的に取り組むこととします。



## 5-3 進捗管理

本計画の取り組みが持続性の高いものとなるよう、地域との協働による施策展開を基本とするとともに、継続的なモニタリングにより利用者ニーズや自転車交通需要等の変化を踏まえながら、関係機関と連携しPDCAサイクル(※)による進捗管理を行うものとしします。

また、PDCAサイクルによる評価は、「熊本市自転車利用環境整備計画検討会」に報告し、課題や今後の展開等について協議を行います。

※PDCAサイクル・・・PLAN：計画、DO：実施、CHECK：検証、ACTION：改善

